

manaba course 2.976 バージョンアップ

- ・ 画像はイメージです。実際の画面やマニュアルとは異なる場合がございます。
- ・ バージョンアップ項目によっては既にリリースされている環境もございます。

INDEX

- ◆ 教員・学生向け
 - LTI Advantage対応
 - LTI1.3 埋め込みタイプに「リンク」を追加
- ◆ 教員向け
 - 小テストの問題一括作成機能
 - 小テスト・アンケートのアップロードファイル一括回収
- ◆ その他
 - 不具合修正

<教員・学生> LTI Advantage対応(1)

◆概要

LTIとして登録されたツールをLTIテストでの出題時・エディタへの埋め込み時、以下の3種の規格に対応します。

- **Deep Linking**…manaba側でLTIテスト作成・ツール添付を行う際に、LTIツール内の教材や課題等に直接アクセスして連携設定できるようにする
- **AGS**※(成績連携)…ツール側の点数などの成績を、manaba側に登録・上書き可能にする
※Assignment and Grade Services
- **NRPS**※(コースメンバー連携)…コースメンバーの氏名やロールを含む情報をツール側で確認できるようにする
※Names and Role Provisioning Services

◆事前設定

上記の通り、LTI Advantage は3種類の規格から構成されますが、これらの実装有無はLTIツールによって異なります。

そのため、システム管理者は、登録するツールの仕様を踏まえて、LTIツール管理画面で設定を行う必要があります。

管理者が「利用する設定」にした場合、もしくは「教員に利用有無を選択させる設定」にすることで、コース側で各種LTI Advantage の機能が利用可能となります。

システム管理者画面のツール登録・編集

Deep Linking(LTI Advantage) ?	<input type="radio"/> Deep Linkingを利用しない <input checked="" type="radio"/> Deep Linkingを利用する	Deep Linking
プライバシー ?	ツールに氏名を送る <input type="radio"/> 送信しない <input checked="" type="radio"/> 送信する <input type="radio"/> 教員が選択する ツールにメールアドレスを送る <input type="radio"/> 送信しない <input checked="" type="radio"/> 送信する <input type="radio"/> 教員が選択する	
	ツールにコースメンバー情報を送る <input type="radio"/> 送信しない <input checked="" type="radio"/> 送信する	NRPS
AGS(LTI Advantage) ?	課題の成績をツールが登録・上書き可能にする <input checked="" type="radio"/> 許可しない <input type="radio"/> 教員が選択もしくはDeep Linkingの値に従う	AGS

<教員・学生>

LTI Advantage対応(2)

◆Deep Linking

LTIツールを選択後に「詳細選択」(※1)をクリックすると、LTIツール側の設定画面を表示できます。

- ・必要な情報を入力すると、manaba側の課題に反映することができます。(※2)
- ・特定のページをLTIテスト回答画面もしくはエディタでのツール埋込時に表示することもできます。

※1
ツール側が Deep Linking 規格に対応しており、かつ、システム管理者がツール登録時に「Deep Linkingを使用する」設定を行った場合に限り利用できます。

※2
「タイトル」や「課題に関する説明」の他に、詳細選択パネル内の設定内容に応じたカスタムパラメータも自動的に入力されます。これまではツールの細かい設定を行う場合はカスタムパラメータを手動で入力する必要がありましたが、より直感的な操作で入力が可能となります。

LTIテスト作成画面

詳細選択パネル(表示例)

LTIツール埋め込みパネル

LTIテスト同様にツール側の設定パネルを表示して、リストから任意の動画を選んで埋め込むことなど可能。

<教員・学生> LTI Advantage対応(3)

◆NRPS(コースメンバー連携)

コースメンバーのアクションを待たずに、予めツール側にコースメンバーリストを表示することが可能です。(※1)

例えばNRPSまで対応済みのツールであれば、LTIテスト管理画面を開いたとき、コースメンバーのうち「履修生一覧(未提出者も含む)」を表示することができます。

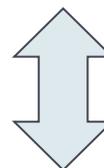
また、ツールによっては学生ユーザ間でもツール側でメンバーリストが表示される場合がございます。

※1

ツール側がNRPS規格に対応しており、かつ、システム管理者がツール登録時にコースメンバー情報を送る設定をしている場合に限り、ツール側が「ユーザ名」「ロール」を取得することができます。

NRPS未対応のLTI1.3ツールの画面例

氏名	提出状況	時刻
学生1	提出済み	2024/08/01 12:30
学生3	提出済み	2024/08/02 20:10



NRPS対応済みLTI1.3ツール画面例

氏名	提出状況	時刻
学生1	提出済み	2024/08/01 12:30
学生2	未提出	
学生3	提出済み	2024/08/02 20:10

コースメンバーが連携されているため、未提出のユーザも予めLTIツール側に表示されます。

<教員・学生> LTI Advantage対応(4)

◆ AGS(成績連携)

LTIテスト作成／編集時にツール側で実施した評価を、manabaの採点シートに反映する設定が可能になります。(※)

選択すると、

- ・ツール側で登録された成績や評価をmanaba側に成績として登録できます。

- ・また、ツール側から提出状況を連携することが出来る場合、manaba側のLTIテストの提出状況を更新することができます。

(ツールの仕様により、manaba側で成績として登録した値が、ツール側で取得・登録されるケースもございます)

※
ツール側がAGS規格に対応しており、かつ、システム管理者がツール登録時にAGSを利用する設定にしている場合に限り利用できます。

LTIテスト作成画面

LTIツールでの結果

氏名	成績	時間
学生1	30	40
学生2	20	50
学生3	25	30

manabaの成績

氏名	合計点	評価	講評
学生1	30		
学生2	20		
学生3	25		

<教員・学生>

LTI1.3 埋め込みタイプに「リンク」を追加

◆概要

添付(旧:埋め込み)表示のツールについて、教員は「埋め込み」に加えて「リンク」形式での表示を選択できるようにします。

※ツールの表示方法は、管理者の「LTIツール管理画面」から確認可能

LTI1.3のツールを登録し公開すると対象コースから利用できるようになります。

ツール名	最終更新日	コースでの表示方法	登
Turnitin Feedback Studio	2024-05-04 15:14:10	課題	Adn
Zoom	2024-03-04 19:37:52	埋め込み	Adn
panopto	2024-06-13 18:45:45	埋め込み	Adn

名称を「添付」に変更

「リンク」としてLTIツールを添付したページでは、リンク付きのタイトルが表示され、教員および学生がタイトルをクリックすると別ウィンドウでツールが開きます。

埋め込みの場合と同様に、manaba とLTIとツール間でのシームレスな認証連携を利用しつつ、広い画面でのツール利用が可能となります。

LTIツール添付画面

ファイル貼り付け
 埋め込みコードから添付
 LTIツールを添付

◆LTIツールを選択してください。

LTIツール

タイトル

添付方法 画面に埋め込み リンク

添付方法-埋め込みの場合



添付方法-リンクの場合



<教員> 小テストの問題一括作成機能(1)

オプション機能を全環境に適用



変更点があります

◆概要

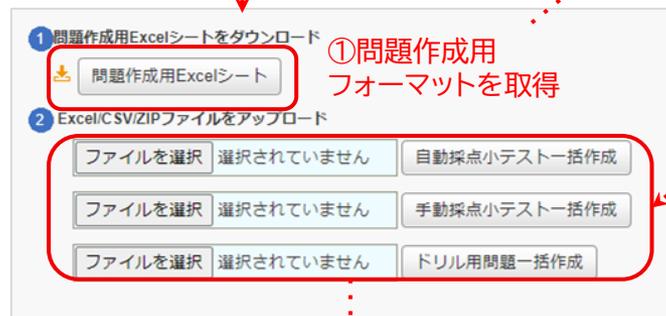
小テストの出題画面に、新たなメニュー「問題一括作成(Excel/CSV/ZIP)」が追加されます。Excel/CSVを指定のフォーマットで記述し、アップロードすることで、問題を一括で作成できるようになります。本機能は、手動採点小テスト、自動採点小テスト、ドリル用問題に対応しています。

小テストの出題



②仕様に沿ってフォーマットに入力 ※以下はイメージです

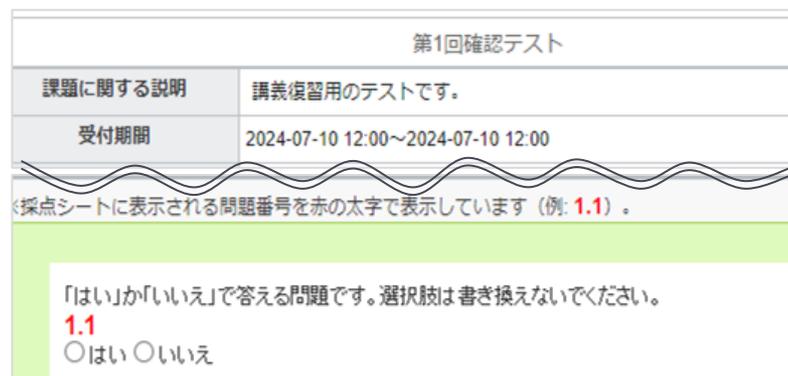
#タイトル	#課題に関する説明	#受付開始日時	#受付終了日時	#問題形式
第1回確認テスト	講義復習用のテストです。	2024-07-10 12:00	2024-07-17 12:00	true/false



①問題作成用フォーマットを取得

③フォーマットをアップロード

④問題の追加が完了



<教員>

小テストの問題一括作成機能(2)

オプション機能を全環境に適用



変更点があります

◆既に「問題一括作成」オプションをご利用中だったお客様へのご案内

これまで指定ができなかった以下の項目についても、問題一括作成用Excelシートで指定可能になります。

1. アップロード問題の作成
2. 単一選択・複数選択・並び替え問題での選択肢の「縦並び・横並び」の指定 ※従来は「縦並び」のみ
3. 設問後の改ページ追加

フォーマットの記入方法は、バージョンアップ後に教員用マニュアルや、問題作成用Excelシート内でご確認いただけます。

The screenshot displays two sequential steps in a question creation process:

- Step 1:** A panel titled "アップロード問題" (Upload Question) with a button labeled "ファイルを選択" (Select File) and the text "選択されていません" (Not selected).
- Step 2:** A panel titled "並べ替え問題(横並び指定)" (Shuffle Question (Horizontal Order Specified)). It includes a "項目" (Item) button and a list of items: "1. morning", "2. to", "3. went", "4. I", "5. market", "6. the", and "7. this".

Additional UI elements include a progress indicator at the top of each step (1 and 2) and a status bar in Step 2 showing "設問数 2" (Number of questions 2) and "経過時間 00:03:01" (Elapsed time 00:03:01).

<教員>

小テスト・アンケートのアップロードファイル一括回収

◆概要

小テスト・アンケート機能で出題できるアップロード問題について、提出されたファイルを以下の2種類の方法で一括回収できるようになります。

アップロード問題があるときに限り、一括回収のための[採点シートと提出ファイル]ボタンが表示されます。ファイルアップロード問題がない場合はこれまでと同様採点シートのみとします。

プルダウンで選択した回収方法でファイルをダウンロードすることが可能です。

成績管理(エクセルで確認・採点)画面

The screenshot shows a web interface for grade management. At the top, there are two tabs: '個別に確認・採点' and 'エクセルで確認・採点'. Below the tabs, there are two main steps: 1. '小テスト採点シートをダウンロード' and 2. '成績データを登録'. In step 1, there is a checkbox for 'xls形式でダウンロードする' and two buttons: '採点シート' and '[問題を表示]'. In step 2, there is a button '採点シートと提出ファイル' which is highlighted with a red box. A dropdown menu is open from this button, showing three options: 'ユーザごとのフォルダにまとめる' (selected), 'ユーザごとのフォルダにまとめる', and '1つのフォルダにまとめる'. At the bottom, there are buttons for 'ファイルを選択', '選択されていません', and '登録'.

[1] ユーザ毎にまとめる ※デフォルト

- ・フォルダ構造: ダウンロードしたzipのフォルダの下にユーザ毎のフォルダ(フォルダ名: {学籍番号}@{ユーザ ID})が作成され、その中に学生が提出したファイルをまとめます。
- ・回収するファイル名: {問題番号}@{元のファイル名}

[2] ファイルを一つのフォルダにまとめる

- ・フォルダ構造: ダウンロードしたzipのフォルダ1つに採点シートと提出ファイルをまとめます。
- ・回収するファイル名: {問題番号}@{学籍番号}@{ユーザID}@{元のファイル名}

<その他の変更・不具合修正 >

◆ システム管理者向け

◆ 登録時のエラー条件修正

- ◆ コース・ユーザ・履修の情報の一部において、マニュアル等に記載の入力条件のうち、最大長(byte数上限)を超えるデータが指定された場合に、警告を表示することなく、最大長を超えた部分を切り捨てて登録してしまう問題を確認しました。

これに対処するため、今後は以下の項目で規定の最大長を超えるデータを指定した場合にはエラーとして扱い、エラーの項目以外も含めたデータ全体が登録できないようにします。

- ◆ コース情報 / コースコード : 最大64byte
 - ◆ コース情報 / ソートコード : 最大64byte
 - ◆ ユーザ情報 / スクリーンネーム (JP) : 最大255byte
 - ◆ ユーザ情報 / スクリーンネーム (EN) : 最大255byte
 - ◆ ユーザ情報 / 氏名 : 最大255byte
 - ◆ ユーザ情報 / 氏名 (英語) : 最大255byte
 - ◆ ユーザ情報 / 学年 : 最大32byte
 - ◆ 履修情報 / ソートコード : 最大255byte
- ◆ 教務システムからのデータ連携を実施中の場合、manaba の入力条件にあわせたデータを作成いただいているため、基本的に影響はないと考えられますが、バージョンアップ/リリースの翌日の夜間 / 早朝連携については普段と異なるエラーがないかをご確認ください。

◆ その他修正

- ◆ 画面表記等の細かな文言修正
 - ◆ manaba 基本マニュアルの一部修正・追記
 - ◆ manaba オプションマニュアルの一部修正・追記
-